

液状化の 課題と対策

能登半島地震
からの教訓

2024.
10.18 Fri
16:20~18:00
(受付:16:00~)

鳴門教育大学
地域連携センター1階 多目的教室

スケジュール 【敬称略】

16:00~	会場・Zoom 受付
16:20	開会 司会・進行 鳴門教育大学地域連携センター 阪根 健二 特命教授
16:30	講演 講師 高知大学防災推進センター 副センター長 原 忠 教育研究部自然科学系理工学部門教授
17:50	質疑応答等
18:00	閉会 挨拶 鳴門教育大学 美馬 持仁 理事

参加費
無料

参加人数



会場参加

50名程度



オンライン

100名程度

対 象

教育関係者,
学生, 一般等



講師

原 忠 氏

高知大学教育研究部
自然科学系理工学部門教授

令和6年能登半島地震(M7.6)では、石川県輪島市などで震度7を観測し、能登半島をはじめ日本海沿岸に甚大な被害をもたらしました。この地震では建物倒壊、地震火災、津波などさまざまな被害が発生しましたが、復旧・復興の妨げになっているのが“液状化”の発生でした。能登半島地震では、内灘町では震度5弱でしたが、揺れが長く続いたことが液状化を誘発したとみられています。今、私たちが直面している“南海トラフ地震”では、大きな地震や津波に加え、「液状化」も予想されています。南海トラフ地震に備えるためには液状化による被害や対策を知っておくことが大切です。

今回の公開講座では、実際に現地調査を行った地盤防災の専門家である原教授を招聘し、液状化現象の一般論に加え、能登の液状化と鳴門周辺の地盤等を解説していただきます。

また、多くの方が参加しやすいように夕方開催としております。



▲石川県立輪島高等学校敷地内 2024.7.4

※準備の都合上、10月4日(金)までにお申し込みください。

お申し込み用QRコード



受付後に、
ZoomIDと
パスワードを
お送りします。
(配信希望の方)

※上記の個人情報は、本研修会の事務処理、御案内に使用し、他の目的には利用いたしません。

会場

鳴門教育大学 地域連携センター 1階 多目的教室 及び、Zoom利用によるオンライン動画配信

▶自動車を利用する場合

神戸淡路鳴門自動車道：「鳴門北IC」から約10分
神戸淡路鳴門自動車道：「鳴門IC」から約10分

▶高速バスを利用する場合

「高速鳴門」下車 タクシーで約10分

▶タクシーを利用する場合

JR「鳴門駅」から約10分



なお、防災公開講座第2弾では、輪島高校校長先生を招聘します。
別途案内いたしますので、ご予約ください。

学校が避難所になったら — 能登半島地震からの教訓 —

日時 2024.
11.10 日 9:30～(大学祭開催中)

場所 地域連携センター 多目的教室

10:00-10:30 能登半島視察・支援報告

鳴門教育大学 特命教授/阪根 健二

10:40-12:10 講演

能登半島地震からの教訓 — 輪島高校での10か月 —

石川県立輪島高等学校 校長/平野 敏氏



お問い合わせ先

鳴門教育大学 教務部 学術情報推進課 教育連携企画係

〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島748

TEL : 088(687)6101/6098 FAX : 088(687)6100

E-mail : chiiki@naruto-u.ac.jp